



歴史ロマン古道ニュース

【発行】 歴史古街道団

団 長： 宮田 太郎 TEL.090-7002-3431
本 部： 東京都多摩市桜ヶ丘

未来につなぐ“むかし道の大いなる価値” 次世代への伝承の道へ

～世代を超えた、元気な野外交流の場と古街道・探索研究ステーションづくりへの挑戦～

「道」で遊び・学び・集う!!

REKKODAN アクション 2020

縄文人はどこをたどって諏訪ハケ岳文化圏から多摩にやってきたのか——、防人の道「古代東海道」は本当に多摩丘陵を通過していたのか、だとしたら、いったいどこにどんな風に痕跡が残されているのか——、東北遠征の道や東西交流の道「奥州古街道」はどこに痕跡が確認できるのか——、鎌倉幕府の軍事政治の道「鎌倉街道」の痕跡や遺跡、沿線にあるという未知の中世城砦群はどこにどのように確認され現状はどうなっているのか——、徳川家康ゆかりの千人行列の道「家康のお樞街道(御尊権御成道)」の痕跡はどう続いていたのか——、そしてこれらの貴重な歴史遺産「多摩古道」をこれからどうやって保存・活用し、未来へ遺し伝えられるのか——。これらの課題の一つ一つ取り組む『REKKODAN アクション2020プログラム』(2020年明けから約3年間計画)の中の『科学的古道探索』のプレ・アクションとして、2019年の秋から準備を始めます。

この取り組みは日本では初の研究事業となります。より科学的にアナログデータとデジタルデータを駆使して、1300年前の国家建造の古代国道「古代東海道」の本当の実際の姿をキャッチしたいものです



が、いわばこれは35年前に始まった団長(宮田)と研究仲間のフットワークデータの正確さの検証でもあります。これまでほとんど公開してこなかった膨大なアナログ基礎データと情報の提供をアーカイブ化と並行して資料提供(一部(株)歴史シアター・ジャパンと協働)し、友好団体の「鎌倉古道・歴史遺産の会」や各自自治体、観光推進団体、支援して下さる企業、各種法人、フットパス団体とも協力しあい、より正確な研究推進に貢献していきます。

また、計画中のWEB学会の立ち上げと同時に同好の志と共に論考発表し、それを「保存(公的な歴史遺産として)と活用(観光・地域振興・学習プログラム化など)」を合言葉に広く公益性を図っていくことを最終目標にしていきたいと思えます。また併せて野外での集いの場や交流の場のプログラムと、若い世代向けの教育プログラム化のための取り組みを、普段の歴史古道探索ウォークやツアーと共に効果的に取り入れていきたいと思えます。

新たなREKKODANステージ活動に、どうぞ皆様のご家族、ご近所、仕事仲間、友人・知人、お孫さんなどをお誘いの上、ご参加ください。心よりお待ちしております。

2019年秋・冬～2020年の新たな企画案(プログラム)

- ① 歴史古街道団の新・ホームページ設置とSNS交流の開始
- ② 世代を超えた「道」を介しての交流と学習プログラム支援
- ③ 『多摩古道』の見える化大作戦2020(現地の「古代東海道」と「鎌倉古街道」遺構、並びに「未登録の中世城砦群」の空中デジタル観察と位置&ルート決定活動(精細地図、航空写真、ドローンによる空中写真)活用
- ④ 一本杉公園の「推定・徳川家康ゆかりの日光への千人行列の道」保全整備(富士フィルム・グリーンファンド＝F G F 助成金の活用)
- ⑤ 多摩よこやまの道ほかの古道歴史解説の拡充への協力と防人イベント&野外学習会の開催(グリーンファンド助成活用)
- ⑥ WEB学会の設立準備開始
- ⑦ 過去の活動(16年前の当団設立よりさらに35年前にさかのぼっての研究活動アーカイブの整理と資料提供体制づくり)

道で学び・道で遊ぶプログラム お手伝いいただける方募集

今期より大変忙しいスケジュールでの活動を予定しています。現在、運営委員(18名)が毎月複数回の会合を行なって活動をボランティアで支えています。手が足りない状況に変わりはありません。

新たなプログラムでは、参加される方や賛同者(広く一般を対象に)の皆さんの応援をぜひ、お願いします。また、特にプログラムに関わって下さるクルー&スタッフメンバーを広く団員以外からも一般募集しております。

(右記の1～5を参照)

*基本はボランティアとなります(特に規定で必要な経費がある場合は当団が負担します)。

1. 研究プログラム・クルー (技術提供、研究協同・協力 *一部でも歓迎)
◎研究成果は予定しているWEB学会で発表することができます。また、全国の仲間とSNSを通じて、またイベントで交流することが出来ます。
2. プログラム運営&支援スタッフ(野外イベント、各種人材提供(*自己推薦歓迎))
3. その他 アクション・スタッフ(イベント前日や当日の応援全般ほか)
4. 取材協力メンバー(写真提供、記事提供、SNS記事素材提供など)
5. 現地ガイド・講師(学習化プログラム活用)

TOKYO歴史古道広域観光連携プロジェクトについて

(2017年～)

2017年からの継続企画「TOKYO歴史街道遺産(多摩古道の日本遺産化(未だ候補がないTOKYO候補として応募))」「多摩丘陵の歴史古道による広域観光連携プロジェクト」の取り組みについては、当2020プログラムと並行して3年間の計画後半以降も随時継続予定(自治体の広域連携施策と連動)。

【これまでの実績と経過】

一昨年(2017年)の9月30日に多摩市永山ベルブホールにて、『道の力』を活かす時代へ!歴史街道遺産フォーラム』(主催:道の力!活用委員会=鎌倉古道・歴史遺産の会、歴史古街道団)*国分寺市、府中市、多摩市、町田市で永年活躍されている学芸員さんや専門家をお招きしてのイベントを開催(満員御礼)し、合わせて「古道・古街道」による広域連携を目指す未来への提言をさせて頂きました。それ以来、以下の

ように毎年連続して講演・交流イベントを開催し、多摩丘陵に関連する複数自治体(東京都下)と地域づくり協議会有志の参加を得て、「歴史古道によるTOKYO多摩地区観光広域連携」のきっかけづくりや問題提起ができました。今後も引き続き推進を継続していききたいと思います。

**友好団体の「鎌倉古道・歴史遺産の会」の活動も含めた
2017年以降の公開講演イベントは以下の通りでした。**

- 2017年9月 多摩市永山公民館にて歴史講演イベント『鎌倉古道と古代街道が眠る奇跡の丘・多摩丘陵』(講演:宮田太郎 主催:鎌倉古道・歴史遺産の会、歴史古街道団)(*満員御礼)
- 2018年4月 町田市民フォーラム・ホールにて歴史講演イベント『小野路と野津田の鎌倉街道跡の実相』(講演:宮田太郎 主催:鎌倉古道・歴史遺産の会、協力:町田市観光コンベンション協会)(*満員御礼)
- 2019年1月 『TOKYO多摩地域を「歴史古道で結ぶ」観光広域連携の集い』(主催:歴史古街道団)(自治体の観光関連各課の皆さん、町田多摩地区のまちづくり関係のみなさん、多摩ニュータウン関係の団体・個人のみなさんほかの参加)(*大会議室・満員御礼)
- 2019年4月 『つなごう・歩こう!大展望の尾根道と歴史ロマン古街道』(主催:鎌倉古道・歴史遺産の会 出演:多賀譲治さん、宮田太郎)＝町田市民フォーラム・ホール(*満員御礼)



その他の歴史古街道団主催の講演イベント 2018年3月:旧津久井郡城山町の山口清先生による「津久井と城山の歴史」/5月:風間武さんによる「古代のハイウェイを訪ねて」/7月:東海大学非常勤講師の田尾誠敏さんによる「古代相模国高座郡の交通」/10月:旅の文化研究所の黒田尚嗣さんによる「日本遺産とは何か」、2019年7月:小島資料館々長・小島政孝先生による「徳川家康の小野路・御尊権御成道」など。

— 佐川美加先生・古道の地形学講演会 —
『道と水が出会うとき』
～古道はどんなところを通っているのか～

日時 / 10月29日(火) 14:00～16:00
 受付は13:30からを予定

会場 / 関戸公民館＝聖蹟桜ヶ丘西口から徒歩4分
 OPAビル<VITA8階>大会議室

参加費 / 会員700円 一般1,000円 中学生以下は無料

内容 フランス史上最大の洪水を題材にした「パリが沈んだ日セーヌ川の洪水史」の著者で、地理学・地形学の専門家・佐川先生(歴史古街道団の団友)が雨水に浸食されつつある小野路の鎌倉古道遺構の現状を心配され、その保存方法を共に考えて下さっています。古街道の多摩川渡河点、古地図や地形図・空中写真・レーザー測量データなどを用いての道と地形の深い関わりなど、これから科学的測量で古代東海道や鎌倉古道の位置を割り出すことにチャレンジする私たちにとって最良の機会です。ぜひご参加下さい。
 *先着90名(定員を超えての入場は消防法で禁止されています万が一ご入場頂けない場合はご了承下さい)

宮田太郎団長と行くロマン探索ウォーク

申し込み不要 当日現地に受付 参加費:団員 700円 一般 1,000円 団員ご家族は2人で1,000円
 昼食:自由昼食(飲食店でも弁当持参でも可) 水筒(飲料)・雨具等のウォーキング・グッズは各自でご持参下さい
 雨天でも実施(大雨や大風などのよほどの荒天時のみ中止)(当日朝6:30までに催行可否を決定します)

晴れていても、にわか雨・通り雨
 対策として雨具は必需品
宮田 携帯 090-7002-3431
 *詳細は歴史古街道団HP参照

— 古代街道・科学的検証プログラム始動! プレ第1弾 野外教室編 ① — **■ 野外イベント・ウォーク**
藤原京や平城京に続く「推定・古代東海道」を多摩丘陵に探せ! **2019年 9 月26日(木)**
～飛鳥人の壮大なる古代都市づくりと風水的測量の謎～

内容 来年の年明けから始まる古街道の科学検証では、航空写真や精細地図、空中測量データなどを使って、どこに飛鳥・奈良時代の「古代東海道」があったのかを探索調査していきます。2019年の年内は、そのプレイベントとして、多摩丘陵最北端の武蔵野大展望地「ゆうひの丘」や明治天皇ゆかりの尾根から開始し(12月まで全4回)、日光男体山を「玄武」とし測量基準とした?ダイナミックな風水的な思想による古代都市づくりのロマンを皆で考えていきます。

コース 聖蹟桜ヶ丘駅西口改札口前10:00集合→大栗橋→大坂→春日神社→大谷戸公園(各自弁当昼食)*野外教室開催(パネル解説ほか)→ゆうひの丘→聖蹟桜ヶ丘駅 歩程 約5km 解散は15:30予定

— 知らなかった!歴史ロマンの里“つるかわ” — **■ 日帰り探索ウォーク・イベント**
熊野の豪族と来住武士団伝説“かごやま” **2019年 10 月 5 日(土)**
～飛鳥時代の古代測量台と古墳群の謎～ 主催:まだOごと大作戦「鶴川のインバウンドを考える」

内容 【講師ガイド】古街道研究家 宮田太郎氏 【参加費(MAP・資料付)】お一人500円(中学生以下無料)
 【申し込み】当日受付 10:00「鶴川駅北口改札出て左の「やすらぎ公園」にて受付 *ウォークは小雨決行・大雨中止

コース AM:岡上コース ★昼食は香山園内のガーデン屋台の利用 または駅前で各自自由 PM:香山園→能ヶ谷神社→石川邸(解散)
 *解散後に①日白洲邸(武相荘)立ち寄り見学(別途千円) ②妙行寺尾根～鶴川駅までの散策などあり

— 古代街道・科学的検証プログラム始動! プレ第2弾 野外教室編 ② — **■ 野外イベント・ウォーク**
幻の打越山遺跡と「推定・古代東海道」ルート **2019年 10 月12日(土)**
～国内最大級の古街道発見!を振り返る～

内容 古街道の位置を探る科学検証では、先ずその位置や地勢、歴史景観を把握することが大切です。この度のプレ探索第2弾では、国内最大級の道幅(最大12m)として発見された「推定・古代東海道」跡の位置とルートを探索調査し、乞田川をはさんだ中世鎌倉街道の丘との地理関係や歴史景観を実体感していきます。

コース 小田急永山駅改札口前10:00集合→諏訪尾根と薬師堂→馬引沢の推定・古代東海道ルート→ひじり館前広場(各自弁当昼食)→桜ヶ丘公園→推定・古代東海道ルート(聖ヶ丘遊歩道)→打越山遺跡地→高西寺前の解説ボード→寺坂→車橋または熊野神社前から路線バスで永山駅または聖蹟桜ヶ丘駅へ 歩程 約5km 解散は15:30予定

一 多摩丘陵を越えた家康ゆかりの千人行列を日光東照宮で実感しよう 一 ■ 現地集合 見学会

『日光東照宮“百物揃千人武者行列”見学と家康の霊廟参拝』 2019年10月17日(木)

内容 日光東照宮では、毎年5月と10月に流鏝馬と千人武者行列を再現する祭りが開催されています。かつて江戸時代の初めに多摩丘陵の小野路から多摩市一本杉公園を越えた実際の千人行列を実感するには最適な祭りです。日光駅(JRと東武)までは各自で自由にお越しください。その後は参加者のみなさんを団長宮田がご案内し、輪王寺や二荒山神社、大猶院、東照宮奥宮(家康霊廟)、開山堂などを巡ります。

コース 東武日光駅→神橋と対岸の深沙大王堂(調布市の深大寺の大元社と同じ)→輪王寺→11:00からの千人行列渡御(東照宮→表参道→御旅所)を見学→昼食(各自弁当持参がおススメ 東照宮近くに「日光本家やまびこ(大型店)」一軒あり)→大猶院→二荒山神社→東照宮(陽明門、奥宮)→開山堂→日光駅(東武・JR) 駅での解散は15:30予定

*参加希望者は10月10日までに須知宛ご連絡下さい。[連絡先 須知 090-3695-7580]

*日光東照宮 問い合わせ ☎ 0288-54-0560

【集合と交通アクセス】「東武日光駅」改札口前に午前9時50分集合(JR日光駅で降車の場合は300mほど西へ進むと東武日光駅があります)

*JR線・東武線とも7:30台の列車でおよそ日光に9:30前後に着きます

一 古代街道・科学的検証プログラム始動! プレ第3弾 野外教室編 ③ 一 ■ 野外イベント・ウォーク

大展望の“防人の見返りの峠”と謎の並列古道を探る 2019年11月23日(土祝)

★「鎌倉古道・歴史遺産の会」と合同企画★

内容 古街道の科学的検証のイベント3回目は、今やGoogle Earthにも記載されている「防人見返りの峠」について、なぜここが推定・古代東海道にあたると思われるのか、峠の命名者が「多摩よこやまの道」の歴史監修を担当した宮田団長が、詳細について現地解説します。また普段めったに見られない謎の「並列大規模古道跡(古代東海道の痕跡?)」にも踏み込む予定です。さらに先の小野路別所「東光寺」裏手の仮称・別所砦、東光寺砦に付近まで現地探索していきます。

コース 小田急永山駅改札口前10:00集合→永山尾根→諏訪尾根→沖ノ谷戸の推定・古代東海道ルート→諏訪南公園(各自弁当昼食)→防人見返りの峠→並列する大規模古街道跡→古道五叉路→小野路別所(仮称・東光寺砦・別所砦の跡)→別所バス停または京王バス多摩車庫前バス停にて解散(多摩センター駅、永山駅、聖蹟桜ヶ丘駅行き) 歩程 約5km 解散は15:30予定

*下記の9月28日「鎌倉古道・歴史遺産の会」のウォークで、永山駅から防人見返りの峠に向かう部分の一部でコースが重なりますが、その他は異なるコースとなります。

一 古代街道・科学的検証プログラム始動! プレ第4弾 野外教室編 ④ 一 ■ 野外イベント・ウォーク

これぞ「古代東海道」が造った大規模窪地形?! 2019年12月21日(土)

～小野路五反田から野津田上ノ原～

内容 古代街道の位置科学的検証・イベント4回目は、国分寺市の「東山道武蔵路」が発見された全長330mの痕跡の1.5倍近い長さにあたる800mの窪地状痕跡が台地の上に確認されます。小野路川の渡河点には道幅12mに該当する土地の区割りが前後に続いています。近くでは国内最大級の鎌倉古道も並行して発見されており、古代東海道がその先の野津田バス車庫で「奈良時代・続日本紀ルート」と「平安時代・延喜式ルート」に分岐するという宮田団長の説を検証していきます。

コース 小田急線「鶴川駅」北口改札口前9:30集合→路線バスで9時53分発多摩センター駅行きバスで小野路の「湯舟」バス停下車→五反田～小野路川渡河点の区割り→野津田公園・鎌倉古道発掘現場(上の原遺跡)→昼食(上の原にて各自弁当)→古代の烽火台跡(飛尾、飛平、焼辺)→華厳院の古道坂→古代東海道・駅家推定地(野津田バス車庫付近)→野津田バス車庫近くの公園広場で解散(鶴川駅方面、町田駅方面へ) 歩程 約5km 解散は15:30予定

みやた たろう 2019年9月～12月までの外部講座と旅

※各講座とも事前の予約が必要です。HPやチラシなどで詳細事項等をご確認下さい。

- 9月28日(土) 日帰り探索ウォーク『万葉時代の“防人見返りの峠”と鎌倉街道の城砦を多摩市に探る』 主催→鎌倉古道・歴史遺産の会
*コースは歴史古街道団11月23日の内容とは異なる部分が大半ですが、沖の谷戸と防人見返りの峠はどちらも行きます。
*詳細は鎌倉古道・歴史遺産の会のHPまたは古街道団HPのリンクをご覧ください。
- 10月6日(日) 長野県駒ヶ根の「フットバスジャンボリー」に参加 kokaido@r3.dion.ne.jp
*参加ご希望の方、また詳細を知りたい方は宮田太郎にお問い合わせください。 TEL 090-7002-3431
- 10月9日(水) 日帰り探索ウォーク『高麗若光が歩いた元狭山の道』[半期ごとのお申し込みが必要です] 主催→NHK学園 オープンスクール
- 10月11日(金) ニッポンの古街道集中地帯を歩く『八王子山田から相原七国峠への古街道』 主催→クラブツーリズム街道
- 10月16日(水) 日帰り現地探索ウォーク『原宿の源氏山と奥州古道の謎を探る』 主催→朝日カルチャーセンター湘南
- 10月23日(水) 3泊4日ツアー『海の道シリーズ“徳之島と奄美大島”古代遺跡が眠る島』 主催→NHK学園 オープンスクール
～26日(土)
- 11月6日(水) 2泊3日ツアー『奥州古道を訪ねて 源義経や頼朝がたどった紅葉の東北・陸奥路』 主催→多摩らいふ倶楽部
～8日(金) ～多摩から続く平安・鎌倉時代の古街道歴史ロマン～
- 11月13日(水) 日帰り探索ウォーク『服部半蔵と江戸の忍者ムラを探る(信濃町から四谷)』 主催→NHK学園 オープンスクール
[半期ごとのお申し込みが必要です]
- 11月16日(土) 歴史講演 ★講演テーマは9月中頃に決定 主催→東海道かわさき宿交流館
- 11月29日(金) 座学講座『日本馬の歴史学～中世の馬に跨って駆けた武士たちと関東の馬牧ロマン～』 主催→朝日カルチャーセンター湘南
- 12月1日(日) 町田市のイベント:『まちカフェ』(会場:町田市役所1階) 鎌倉古道・歴史遺産の会のブースにて9:30～16:00まで解説中(無料)
- 12月11日(水) 日帰り探索ウォーク『鶴川むかし道回廊を歩く』 主催→NHK学園 オープンスクール
～香山(かごやま)・白洲邸武相荘・石川邸と鎌倉街道早ノ道』 [半期ごとのお申し込みが必要です]

★お問合せ★
 ◎鎌倉古道・歴史遺産の会 ☎ 090-2323-1697(今井)
 ◎クラブツーリズム街道 ☎ 03-5323-6681
 ◎多摩らいふ倶楽部 ☎ 042-526-7777
 ◎NHK学園オープンスクール ☎ 042-572-3901
 ◎朝日カルチャーセンター湘南 ☎ 0466-24-2255
 ◎東海道かわさき宿交流館 ☎ 044-280-7321

ガイドリーダーと行く史跡探索!

※各コース(次ページ記載の多摩よこやま道ウォーク含む)とも

事前申し込み不要。当日現地にて受付。雨天時は中止。(小雨決行。当日朝7:30までに各連絡先にお問い合わせ下さい。)

昼食(弁当)・飲料・敷物・雨具等ウォーキンググッズは各自ご持参下さい。

参加費 団員 500円 (団員家族は2人で 700円) 一般は1名700円 (保険料 共)

※多摩よこやま道ウォークの9月8日及び10月14日は半日ウォークにつき団員 300円 (団員家族は2人で 500円)

一般は1名500円 (保険料 共) 実施要領は、チラシまたはホームページにて必ずご確認ください。

衣笠城とその支城、三浦氏の史跡を歩く!

— 鎌倉幕府を支えた三浦氏の本拠地探訪 —

2019年
10月26日(土) 10:30▶▶ 藤田一彦(団員)

連絡先 / 藤田一彦 ☎080-5184-9840

【内容】関東において、源家とつながりが深かった三浦氏は、頼朝挙兵以来、鎌倉幕府を支えた一大武士団であった。のちに三浦半島全域に勢力を広げていった。その最初の拠点、今の衣笠城址の地であると言われている。そこは、古久里浜湾が内陸に入り込んでいた谷間の一番奥に位置し、いかにも要害の地である。宅地開発、高速道路により旧状はかなり破壊されてしまっているが、周辺には三浦氏ゆかりの場所が残されている。今回は、大矢部の大手道を進み、衣笠城を通り抜け、かつての鎌倉郡衙から三浦半島を横断した古代東海道に通じていた搦手道をも辿ってみたい。

▶ 衣笠城址・横須賀市



【コース】京浜急行久里浜線「北久里浜」駅改札前10:30集合→佐原城址→腹切松公園→大矢部城址(昼食:弁当持参)→清雲寺→薬王寺跡→近殿神社→満昌寺→衣笠城大手道→大善寺→衣笠城址→搦手道→駿河坂→浦賀道(古代東海道)→JR横須賀線「衣笠」駅 15:00頃解散予定 歩行距離 約10km

桑都あるき (その4)

— 小田野城から由比の牧を探索します —

2019年
11月30日(土) 10:30▶▶ 高尾あるきの会(団員)

連絡先 / 伊藤 ミチ子 ☎090-5403-2217

【内容】八王子の別呼称「桑都(そうと)あるき」として八王子市内を巡ります。陣馬街道(旧案下街道)は和田峠を越えて甲州山梨に入る江戸以前の甲州街道でした。そして鎌倉街道山の道(秩父道)と交差する川原宿には北条氏照が要所として抑えるため小田野城(八王子城小田野出城)を置きました。また天平時代(AD700年頃)には由比の牧がこの地域に開かれたとされています。諏訪神社がある付近は北条氏照の八王子城惣構えの城下町にする構想がありました。「由比の牧」の碑▶



▶ 小田野城跡



▼ 諏訪神社境内

【コース】京王線・JR中央線「高尾駅」北口10:00集合→バス停川原宿大橋→松姫が滞在した心源院→小田野城跡→高尾の森わくわくビレッジ(広場で持参昼食)→野堀川緑道→由比の牧碑→日枝神社・切り通し→金比羅社→諏訪神社→西東京バス停諏訪神社前 15:00頃 解散予定 (お弁当ご持参ください)

※当日の天候などの事情で変更することがあります



～伊能忠敬が歩いた道～ 日野宿から多摩一ノ宮へ寄り道の謎(その2)

— 伊能図の見どころ解説付き —

歴史古街道団主催/多摩ニュータウン学会協賛

【内容】全国の海岸線と主要街道を自らの足で踏破して初の実測日本地図を作り上げた伊能忠敬。その多忙な測量行の途中、日野宿から多摩一ノ宮まで寄り道をしました。お目当ては高幡不動尊か、武蔵一ノ宮・小野神社か。昨年歩いた高幡不動～聖蹟桜ヶ丘の続編として、今回は日野宿～高幡不動を歩きます。万願寺一里塚など旧甲州道中の遺構や近世以降の日野の発展を支えた用水路なども巡ります。昼食休憩タイムには「伊能中図」の複製を広げ、地図の見どころを解説します。

2019年
12月15日(日) 10:30▶▶ 篠原啓一(団員)

連絡先 / 篠原 啓一 ☎080-5495-6694



▲「伊能中図」に描かれた一ノ宮への寄り道ルート



▲日野市の鳥「カワセキ」

【コース】JR中央線 日野駅 東側広場10:00集合→日野宿(西の地蔵)→八坂神社→旧本陣→東の地蔵)→万願寺一里塚→万願寺交流センター(お弁当持参・自由昼食)→浅川ふれあい橋→高幡不動・土方歳三像前 15:00頃解散予定 歩行距離 約5km

「多摩よこやまの道を歩こう！」

万葉の頃は、武蔵国府から眺めると横に連なる山々、その夕影も美しく、「多摩の横山」、「盾引きの山」と呼ばれていた尾根筋を走る「よこやまの道」。多くの古道と重なり交叉し、それらの痕跡や伝説も多く、古道や歴史に関心のある方に愛好されています。また、里山の自然が残っており、四季の移り変わりを楽しめます。この豊かな道を歩き、感じ味わってみませんか？



萩の花 尾花 葛花 撫子の花 おみなへし また藤袴 あさがほの花 [山上臣憶良 万葉集1538]

2019年9月8日(日) 尾根古道で秋の七草を探そう! 《半日ウォーク》

□ 須知正度 講師のガイドウォーク《東コースの予定》 連絡先 ▶▶▶ ☎090-3695-7580 (須知)

【内容】よこやまの道を東へ、天王森(多摩市東側・最高点)からほぼ尾根づたいに、旧多摩聖蹟記念館経由で聖蹟桜ヶ丘駅まで歩きます。途中、スダジイ・むくの木・ケヤキのご神木(いずれも多摩市天然記念物)の力に触れ、萩、尾花、葛花、撫子、女郎花、藤袴、朝顔(桔梗)を探しましょう! もちろん、古道も確認しますよ!!



▲ 尾根古道を歩く皆さん



▲ 萩の花

【コース】京王相模原線「若葉台駅」改札前 9:30集合→丘の上広場→天王森公園・八坂神社→尾根古道→白山神社→都立桜ヶ丘公園(旧多摩聖蹟記念館)→多摩中央病院付近→春日神社→大坂→聖蹟桜ヶ丘駅へ (12:00頃 解散予定)※都合により変更の場合有り

誰そ彼と 我をな問ひそ ながつき 九月の 露にぬれつつ 君待つ吾を [作者未詳 万葉集2240]

2019年10月14日(月・祝) 奥州古道から鶴見川源流へ! 《半日ウォーク》

□ 須知正度 講師のガイドウォーク《西コースの予定》 連絡先 ▶▶▶ ☎090-3695-7580 (須知)

【内容】よこやまの道から奥州古道・常盤道を歩き、正山寺、田中谷戸(六部塚の石仏等の移設先)を経由して鶴見川源流地区を訪ねます。その後、よこやまの道に戻って、山王塚や六部塚の伝承地を辿ります。百舌鳥がさえずりで自己主張をするかも。



▲ 源流保水の森・町田市HPより



▲ 鶴見川源流付近

【コース】小田急多摩線「唐木田駅」改札口前 9:30集合→よこやまの道→奥州古道(常盤道)→影取池伝説地→奥州古道(常盤道)→正山寺→田中谷戸→鶴見川源流の泉→鶴見川源流地区→よこやまの道→山王塚→よこやまの道→六部塚→奥州古道(常盤道)→唐木田駅へ (12:00頃 解散予定) ※都合により変更の場合有り

かむなつき しぐれ 十月 時雨に逢へる もみち葉の 吹かば散りなむ 風のまにまに [大伴宿禰池主 万葉集1590]

2019年11月10日(日) 新日本歩く道紀行「歴史の道」100選の一つ!

□ 須知正度 講師のガイドウォーク《東西コースの予定》 連絡先 ▶▶▶ ☎090-3695-7580 (須知)

【内容】よこやまの道を東から西へ基本的な行程を歩きます。よこやまの道と古道との重なりや交叉を確認しながら、鎌倉街道早ノ道~よこやまの道~推定古代東海道~よこやまの道~鎌倉古道~鎌倉裏街道~奥州古道(中尾道)~よこやまの道~奥州廃道という行程を歩きます。



▲ 防人見返りの峠へ



▲ 石仏

【コース】京王相模原線「若葉台駅」改札前 9:30集合→丘の上広場→防人見返りの峠→並列古道跡(推定古代東海道跡)→古道五叉路→鎌倉古道跡→一本杉公園(昼食)→奥州古道(中尾道)→石仏群→よこやまの道→奥州廃道→小田急多摩線唐木田駅 (15:00頃 解散予定) ※都合により変更の場合有り (お弁当ご持参ください)

2019年12月8日(日) 尾根緑道を歩き縄文祭祀遺跡を訪ねよう!

□ 須知正度 講師のガイドウォーク《西コースの予定》 連絡先 ▶▶ 090-3695-7580 (須知)

【内容】奥州古道常盤道(よこやまの道と重なる)を歩き、よこやまの道終点経由で長池公園から尾根緑道を歩きます。都立小山内裏公園では、古代甲州道跡や武相国境の峰、鮎道(あゆのみち)を確認します。最後に、縄文祭祀遺跡の田端環状積石遺構を訪ねます。重要な祭祀は冬至祭り。今年の冬至は12月22日です。越冬準備中のコゲラやカラ(四十雀等)の仲間達も皆さんを歓迎してくれるでしょう!



▲ 尾根緑道を歩く



▲ 田端環状積石遺構(復元)

【コース】小田急多摩線唐木田駅改札前 9:30集合→よこやまの道(奥州古道常盤道)→影取り池→よこやまの道(奥州古道常盤道)→六部塚→山王塚(よこやまの道終点)→長池公園→尾根緑道→都立小山内裏公園草地広場(昼食)→同公園内古道跡・武相国境の峰→鮎道(あゆのみち)→同公園内古道跡→田端環状積石遺構→京王相模原線「多摩境駅」(15:00頃 解散予定)

*都合により変更の場合有り (お弁当ご持参ください)

「読んでみよう! 万葉集」

第1回 □ 2019年 9月21日(土) 14:00~16:00
□ 関戸公民館・第3学習室

第2回 □ 2019年 10月18日(金) 10:00~12:00
□ 関戸公民館・TAMA女性センター・ワークショップ・ルーム

*第3金曜日、10:00~12:00または14:00~16:00、関戸公民館にての開催を基本的には考えております。

★11月以降の開催場所及び時間については、改めてお知らせ致します。

□テキスト 岩波文庫『万葉集(一)』 定価1,180+税
校注:佐竹昭広、山田英雄ほか
「新日本古典文学大系『万葉集』」の文庫版 2013年発行
★今回、テキストを各自ご購入の上、ご参加ください

□参加費 300円 ・事前申し込みは不要です



「万葉集」が元号「令和」の
抛り所とされたことを切っ掛けとして、万葉集を読んでみようということになりました。
今回の「万葉集」は、世話人がいるだけ。講師は置きません。参加者の皆さんとご一緒に、

最初の一首から通して読んでみよう…という企画です。

いにしえ人の詠んだ歌を読み、感じ味わって下さい。読み手は貴方自身です。

「読んでみたいけど…」 「万葉集ってむずかしいのでは…?」で止まっている人、大歓迎です!!

【袖摺り合うも他生の縁】、ゆったりとした時間を過ごしませんか。ご参加を心よりお待ちしております。

相談役:須知 正度 (連絡先 須知 090-3695-7580)
世話人:狩野 亮子/齋地 カズエ

2019年度 定期総会 開催

2019年6月8日(土)午後2時より関戸公民館8階大会議室において、第15回定期総会が開催されました。団員総数133名のうち、出席者39名、委任状提出者57名、合計96名(定足数27名)のもと、宮田団長を議長に選出し、議案はすべて承認されました。総会終了後の団員交流会では、イベント参加回数上位の団員の方、11名が表彰されました。

2019年度 活動方針

《活動の基本目標》お陰様で、今年は発会から15年周年を迎えます。これまでの活動の成果として、「多摩丘陵を乗り越えた12本の古街道群」に焦点を当て、「古街道遺跡群と歴史環境」=特に多摩市・町田市を中心とする「多摩丘陵の古街道群」を「国や都レベルでの文化遺産」に登録する為に資する様々な活動をしていきます。

また、次第に定着してきた古街道団会員のガイドによるウォークや会員参加型イベントのさらなる充実を図っていきます。

また、永年の課題である、幅広い世代への働きかけを行ない、活動への参加を促進していくための方法を皆で考え、実践していきたいと思えます。

さらに、改革中の新ホームページを活用して、古街道団の活動に関する情報の発信に努めると共に広報宣伝にも力を入れ、より多くの方に理解を得て、当団の活動にご参加頂けるように努めていきます。

《具体的な方法について》

1. 「多摩丘陵を乗り越えた古街道群」に関する知見を広める
2. 「推定・徳川家康「日光への千人行列の道」」の古道遺構(多摩市一本杉公園内、御尊櫃御成道)の保全活動継続とPRの推進
3. 新ホームページの活用による当団の活動のPR強化
4. 奥州古道をテーマに、東北地方と連携

2019年度 運営委員及び会計監査

団 長/宮田太郎 副 団 長/富田昭夫 事務局長/須知正度
運営委員/伊藤ミチ子/遠藤邦江/岡田 渉/狩野亮子/齋地カズエ
杉山由利子/須永洋子/田口俊弥/高野みどり/中村敬子/眞壁寿美子
三好孝典/八木原泉子/山崎ひろ子
会計監査/松本英昭

団員には、当団主催の行事参加費を割引、歴史ロマン古道ニュース(団報)をお送りします。年会費は3,000円(4月から翌年3月まで。10月以降入会は1,500円)

【お申込み方法】 ゆうちょ銀行備付け「振替払込取扱票」に「入団」と明記し、ご氏名・ご住所・ご連絡先電話番号をご記入の上、年会費を下記へご送金ください。

【振込先】 ゆうちょ銀行振替口座: 00140-7-445195 【加入者名】 歴史古街道団ウォーキング参加時などに、団運営委員にお申し出いただいても、お手続きいたしますのでお気軽にどうぞ。



地名【調井(ととのい)】の魅力

津田 幸雄 (団員)

天正18年(1590年)6月23日、八王子城は落城した。八王子城は、北条氏照が滝山城にいた頃、武田信玄の攻撃を受けた後に、防衛城として築城したものと伝えられている。滝山城は、交通の要所ではあるが、一つには、小仏峠から城下の西側を攻められており(小山田信繁・廿里の戦い)、二つには、加住丘陵にある滝山城は信玄軍本体(武田勝頼等)に三の丸まで攻められ、南側の守備に弱点があると氏照らは考えた。

甲州口に近い「深沢山」を「山城」として築城したものだ。地形的にも南浅川と北浅川に囲まれた城塞として、織田信長の安土城を参考に下見するなど築城跡が見られる。しかも、山頂付近には「坎井の井戸」が設けられ、弓矢用の矢竹(ヤダケ)で曲輪を囲むなど長期戦も視野に入れている。御主殿には馬で駆け上がれない高さの階段を設けているのも凄い。

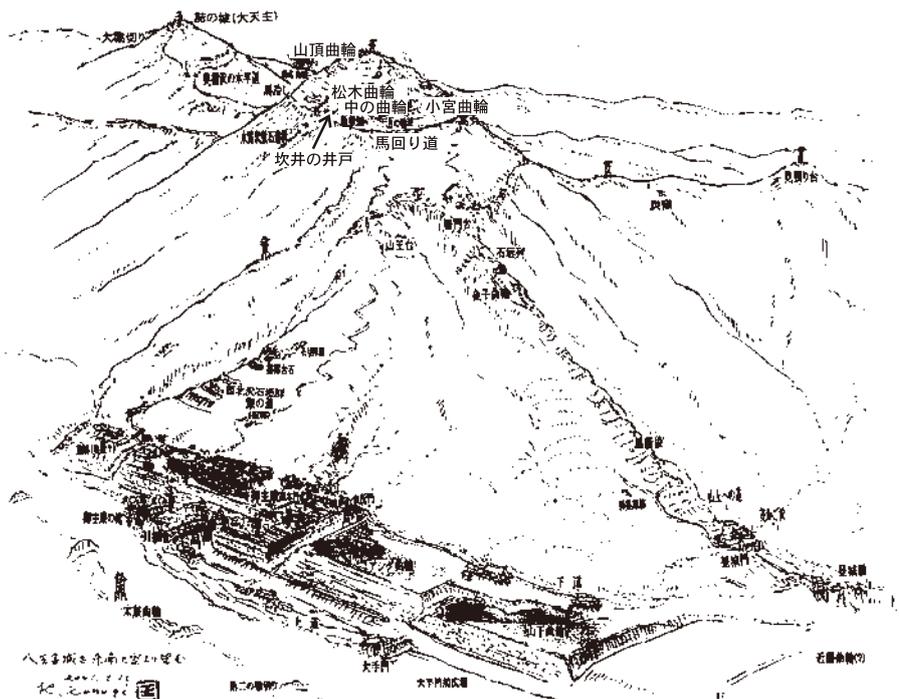
八王子城の八合目辺りに「鉢巻き状」の「馬回り道」が設けられていて、敵軍がこの馬回り道を攻め落とすには、どの方向からも細尾根を縦一列でしか進軍できない構造になっている。守り易いが・攻め難い後北条の築城跡が認められる。小田原などの平城と違い、急峻な山を利用した典型的な籠城型の出先城なのだ。だから、この城が落城した時に小田原城内にいた氏照のショックは相当に大きかったに違いない。

搦め手口からの上杉軍の先鋒は、知略家の藤田信吉だ。藤田は若い頃、鉢形城主の北条氏邦の小姓を務めている。また、氏邦の本妻は藤田信吉の姉であり、藤田家は鎌倉幕府御家人の武蔵七党猪俣党の末裔である。氏邦が藤田家の嫁を本妻とし、氏照が大石氏の娘を本妻にしたのも後北条の関東制圧の戦略とも一致する。氏邦は藤田の助命で前田家預けとなる。

前田利家や上杉景勝らがとった作戦とは、開城させた松井田城城代の大道寺政繁(北条家重臣)を八王子城攻略の先陣に立たせている。藤田信吉は、平井城主平井無辺を調略して搦め手口の道案内をさせている。平井無辺は、八王子城の普請奉行であったから、城内を熟知しており、人知れず密かに山頂近くに侵攻できたと思われる。藤田達が山頂曲輪(横地監物)から攻撃すれば守り手の背後からの攻撃となり、馬回り道から先にある「中の曲輪(中山家範)、小宮曲輪(狩野一庵)、松木曲輪」など簡単に破られた。ここに、八王子城は落城した。

平井無辺が案内したケモノ道を考古学者の柵国男さんに案内されて歩いたのは30年以上前のことだ。故人となられた柵国男さんとは10回以上一緒に八王子城を登っている。奥様は、ランドセル地蔵で有名な児童文学者の古世古和子さんだ。柵さんは、1283人以上の戦死者を出した八王子城落城を教科書に載せないのはなぜか?頻りと歎いておられた。

八王子城の搦め手口の少し先に小字「調井(ととのい)」がある。とても魅力的な地名だ。



歴史古街道団 予定表 (2019年9月～12月)

※注(団)=歴史古街道団 【宮田】=宮田太郎ウォーク 【学】=講演会・学習会 【ガイド】=ガイドリーダーウォーク

月日	集合場所・時間	探索・学習テーマ	参加費	申込み	問合せ先
9月8日(日)	京王相模原線「若葉台駅」 改札口前9:30	【ガイド;須知】月例 多摩よこやまの道を歩こう！ 尾根古道で秋の七草を探そう！	団員:300円 一般:500円	当日	(団)須知 TEL.090-3695-7580
9月21日(土)	関戸公民館8F第3学習室 14:00～16:00 京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」西口改札徒歩3分	【学】読んでみよう！万葉集①	団員:300円 一般:300円	当日	(団)狩野 TEL.080-1933-0144 (団)齋地 TEL.090-6184-9060
9月26日(木)	京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」 西口改札前10:00	【宮田】野外イベントウォーク～古代街道・科学的検証プログラム始動① 藤原京や平城京に続く「推定・古代東海道」を多摩丘陵に探せ！ ～飛鳥人の壮大なる古代都市づくりと風水的測量の謎～	団員:700円 一般:1000円	当日	(団)宮田 TEL.090-7002-3431
10月5日(土)	小田急線「鶴川駅」 北口改札左手「やすらぎ公園」10:00	主催:まちだ〇ごと大作戦「鶴川のインバウンドを考える会」 【宮田】日帰り探検ウォーク～知らなかった！歴史ロマンの里“つるかむ”～ 熊野の豪族と来住武士団伝説“かごやま” ～飛鳥時代の古代測量台と古墳群の謎～	500円 (中学生以下 無料)	当日	(団)宮田 TEL.090-7002-3431
10月12日(土)	京王相模原・小田急多摩線「永山駅」 小田急側改札前10:00	【宮田】野外イベントウォーク～古代街道・科学的検証プログラム始動② 幻の打越山遺跡と「推定・古代東海道」ルート ～国内最大級の古街道発見！を振り返る～	団員:700円 一般:1000円	当日	(団)宮田 TEL.090-7002-3431
10月14日(月)	小田急多摩線「唐木田駅」 改札口前9:30	【ガイド;須知】月例 多摩よこやまの道を歩こう！ 奥州古道常盤道から鶴見川源流へ！	団員:300円 一般:500円	当日	(団)須知 TEL.090-3695-7580
10月17日(木)	東武日光線「東武日光駅」 改札前9:50集合	【宮田】現地集合見学会 日光東照宮「百物揃千人武者行列」見学と家康の霊廟参拝 ～多摩丘陵を越えた家康ゆかりの千人行列を日光東照宮で実感しよう～	団員:700円 一般:1000円	事前申込	(団)宮田 TEL.090-7002-3431 (団)須知 TEL.090-3695-7580
10月18日(金)	関戸公民館7F TAMA女性センター・ワークショップ・ルーム 10:00～12:00 京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」西口改札徒歩3分	【学】読んでみよう！万葉集②	団員:300円 一般:300円	当日	(団)狩野 TEL.080-1933-0144 (団)齋地 TEL.090-6184-9060
10月26日(土)	京浜急行久里浜線 「北久里浜駅」 改札前10:30	【ガイド;藤田】衣笠城とその支城、三浦氏の史跡を歩く！ 鎌倉幕府を支えた三浦氏の本地地探訪	団員:500円 一般:700円	当日	(団)藤田 TEL.080-5184-9840
10月29日(火)	関戸公民館8F大会議室 14:00～15:30 京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」西口改札徒歩3分	【学】講演会 講師:佐川美加先生 テーマ:「道と水が出会うとき」 ～古道はどんなところを通っているのか～	団員:700円 一般:1000円 中学生以下無 料	当日	(団)宮田 TEL.090-7002-3431
11月10日(日)	京王相模原線「若葉台駅」 改札口前9:30	【ガイド;須知】月例 多摩よこやまの道を歩こう！ 新日本歩く道紀行「歴史の道100選」の一つよこやまの道	団員:500円 一般:700円	当日	(団)須知 TEL.090-3695-7580
11月23日(土)	京王相模原・小田急多摩線「永山駅」 小田急側改札前10:00	【宮田】野外イベントウォーク～古代街道・科学的検証プログラム始動③ 大展望の“防人見返りの峠”と謎の並列古道を探る	団員:700円 一般:1000円	当日	(団)宮田 TEL.090-7002-3431
11月30日(土)	京王線・JR中央線 「高尾駅」北口改札前10:00	【ガイド;高尾あるきの会(団員)】桑都あるき(その4) 小田野城から由比の牧を探索します	団員:500円 一般:700円	当日	(団)伊藤 TEL.090-5403-2217
12月8日(日)	小田急多摩線「唐木田駅」 改札口前9:30	【ガイド;須知】月例 多摩よこやまの道を歩こう！ 尾根緑道を歩き縄文祭祀遺跡を訪ねよう！	団員:500円 一般:700円	当日	(団)須知 TEL.090-3695-7580
12月15日(日)	JR中央線 「日野駅」東側広場10:00	協賛:多摩ニュータウン学会 【ガイド;篠原】伊能忠敬が歩いた道② 日野宿から多摩ノ宮へ寄り道の謎(その2)	団員:500円 一般:700円	当日	(団)篠原 TEL.080-5495-6694
12月21日(土)	小田急線「鶴川駅」 北口改札前 9:30	【宮田】野外イベントウォーク～古代街道・科学的検証プログラム始動④ これぞ「古代東海道」が造った大規模窪地形？！ ～小野路五反田から野津田上ノ原～	団員:700円 一般:1000円	当日	(団)宮田 TEL.090-7002-3431

編集後記

本格的な涼風が待ち遠しい気候ですが、皆様にはご健勝のことと存じます。
大変遅くなりましたが、2019年9月から12月までの予定をお届けいたします。

宮田団長主導でREKKODANアクション2020へ向けたプログラムがスタートします。これまでの当団の活動成果を活かしましょう。また、団員主導のガイドウォークや勉強会も継続して実施します。有意義な集いを目指そうと思いますので、ご期待ください。

編集責任: 歴史古街道団(須知)

【発行】歴史古街道団

歴史古街道団 団長 宮田 太郎

本部: 東京都多摩市桜ヶ丘

TEL.090-7002-3431

ホームページ <http://rekkodan.a.la9.jp/>